

岡山市区づくり推進事業報告書

(地域活動部門)

平成28年12月26日

岡山市長 大森 雅夫 様

団体名 芳泉小学校区自主防災会
所在地
連絡先
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んで下さい) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	芳泉小学校区自主防災会
事業実施区域 (小学校区)	芳泉小学校区
事業内容	※ 実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真(2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付して下さい。 芳泉学区は岡山市内最大の学区であります。 地域住民の一番心配していることは災害時(浸水被害)の対応であります。 災害時の対応に対して地域住民の意識高揚を図るには何を以って行えばよいか?を委員会において協議を重ね防災訓練を行うことになりました。 ○ 平成28年 8月 7日(日) 災害時におけるリーダーの養成が必要不可欠であり、今回は神戸市にある人と防災未来センターを見学、震度6での体験・消火器の使い方・強風体験等参加者全員が体験又、語りべの方の当時の生々しい状況のお話に参加者全員が震災の恐ろしさを再認識した。 参加者が被災地における災害状況を自分の目で認識し防災の大切さを認識をする事が出来た。 ○ 平成28年 9月²⁵27日(日) 防災訓練実施、 体験コーナーは起震車・消火器による消火訓練・けむり体験・救急救命 体育館内において新聞紙によるコップ・スリッパづくりの実演・担架づくり(簡易)実演を行った。 簡易トイレづくりは中学生が自ら体験して得たこと、特にトイレの重要性を生徒達が自分で考えて参加者に説明を行っており好評を得た。 非常食の実演・試食は従来婦人会の方をお願いしていたが前回から高校生にすべてをまかせた。 非常食の作り方については高校生が自分なりに考え参加者に説明していました。



事業目的とその達成状況と効果	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起しにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載して下さい。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 ○ 防災リーダー研修 夏休み中に計画して若い世代の参加者を多くしたいと各町内会より募集したところ小中学生父兄の参加が多くなり前回より改善された。 総勢80名の参加となった。参加者に防災に関するアンケートを行いました。 アンケート結果には今後参考にすべきことが非常に多く診られた。(アンケート結果別紙添付) ○ 防災訓練 防災訓練の体験コーナーは例年通り行うが、今回は段ボールによる簡易トイレづくりコーナーを行いました。中学生を主体とし実演、作成手順等を子ども達で説明しました、又非常食は高校生を主体に行い参加者の方から献身的に行動していたと好評を得た。 従来からの課題であった30才代～50才代の参加者が増加し委員会の目的が成果として現れてきた。
企画など工夫と情報公開	※ 実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載して下さい。 ○ リーダー研修 参加人数80名、内中学生15名 参加者全員にアンケート調査をおこなった。…アンケート内容は別紙添付 防災訓練の重要性が地域住民の関心度の高さがあらわれている結果がみられ今後の研修課題に大きな参考となった。 ○ 防災訓練 屋外での体験は例年どおりにおこなった。 今回は公民館活動の一環から段ボールによる簡易トイレづくりのコーナーを設けた中学生を中心として実演を行った、中学生は参加者に作成手順を熱心に説明していて参加者から好評を得た。 今回初めて参加したと言う子供連れの若い夫婦の方から大変有意義な防災訓練であるとの意見を頂いた。 岡山市危機管理室の協力から熊本地震支援に行かれ震災の恐ろしさ又、避難所の運営方法等スライドにより体験された講演を開催した。

次 年 度 計 画	※ 次年度に引き継ぐ課題 今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要を記入下さい。又次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由(課題が解決したからなど)を記入下さい ○ 防災リーダー研修 震災地での研修は費用面に厳しいものがあり次回は被災地での研修は終了。 今後は防災知識を学ぶことを計画する ◆防災まちづくり学校講座への参加、県・市開催の防災講座への参加 ◆防災士の資格取得 ○ 防災訓練 体験コーナーは例年どおり予定 本年は昨年に比べ若い年齢層の参加者が多くみられた。 防災訓練は目に見える成果は現れないが毎年繰り返し行うことで地域住民の意識を高めたい。
事 業 実 施 者 と の 評 値 ・ 感 想 な ど	※ 事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業について評価をご記入ください。 防災訓練は結果を見出すものでなく訓練を繰り返し行うことで住民の意識高揚を図りたい。 災害はいつどこで起こるか解らないもので常日頃日常生活の中に浸透できるよう取り組んで行きたい 特に中高生の参加により自分達がなにか出来ないかと前向きな意識が感じられた。 災害はいつ起きるかは予測できないもので幸い当学区には幼稚園から高校まで一カ所に集中しており特に中高生が地域住民との繋がりが深くなってきている。 又幼稚園・小学児童達に声かけが多くみられる等地域住民に対する意識変化が起きてきた。 今回は若い世代の方の参加が多くなったとはいえまだまだ参加人数は十分とは言えないと思う 参加人数が少ないとは言え防災訓練は継続しなければ徐々に意識が薄れていくものであり 今後も継続して行いたい。

☐ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
当学区は住宅地であり該当なし	

収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	583,700	477,800	
負担金	363,780	371,949	
参加費	160,000	149,000	リーダー研修参加費
広告料	0		
寄付・その他	60,000	0	
計	1,167,480	998,749	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額		決 算 額		内容(必ず記載して下さい)
	総事業費	補助対象額	総事業費	補助対象額	
消耗品費	90,000	90,000	49,267	34,267	防災訓練消耗品
食糧費	107,000	107,000	123,793	103,143	リーダー研修昼食・お茶
印刷製本費	280,000	280,000	257,674	257,674	防災訓練パンフ・防災マップ
通信運搬費	35,000	35,000	0	0	
燃料費	5,000	5,000	2,000	2,000	ガソリン代
手数料	20,000	20,000	0	0	
使用料	80,000	80,000	21,600	21,600	機材運搬車両
原材料費	0	0	41,555	41,555	炊き出し用お米
保険料	50,000	50,000	3,680	3,680	防災リーダー研修保険
旅費	500,480	500,480	491,880	491,880	防災リーダー研修費
その他	0		7,300	0	H27年補助金返納
計	1,167,480	1,167,480	998,749	955,799	



■ 事業実施経過

※ 時系列に沿ってご記入ください。事業実施の為準備や打合せ会合日などもご記入下さい。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
27. 11. 25	防災員会開催:連町会の開催によるリーダー研修・防災訓練の実施日及び計画
28. 1. 18	区づくり推進事業助成申込書提出
28. 4. 16	岡山市南消防署にて防災訓練体験内容の検討
28. 6. 18	区づくり推進事業助成に対する会議 町内会長・各種団体長の防災実行委員による打合せ
28. 7. 18	防災リーダー研修の説明会:防災実行委員に参加者の募集を依頼
28. 7. 26	バス会社へ最終打合せ 参加者人数75名
28. 8. 7	防災リーダー研修:神戸人と防災未来センター研修
28. 8. 22	防災実行委員会開催:今回の訓練内容及び体験コーナーについて 簡易トイレの作り方・新聞紙による紙コップ・中高生のボランティア要請
28. 9. 6	防災実行委員会開催:各体験コーナー・会場責任者等人員配置の検討 岡山市危機管理室との打合せ 熊本地震における避難場所運営等の講演依頼
28. 9. 26	防災実行委員会のうち町内会長による前日準備および打合せ
28. 9. 27	防災訓練実施
28. 10. 18	防災リーダー研修の様子のパネル展開催 南公民館にて(27.10.18~31)
28. 10. 22	芳泉小学校区自主防災会反省会